

# 光星決勝進出



〒030-0180  
青森市第二問屋町3丁目1番89号  
東奥日報社

(C) 東奥日報社 2012

インターネット  
号外

第94回  
全国高校野球  
選手権大会



【光星学院―東海大甲府】1回表光星学院1死一塁、北條が中越えに2ランを放つ。捕手石井Ⅱ甲子園

## 東海大甲府(山梨)を9-3

購読のお問い合わせは  
東奥日報社読者局



0120-46-5939  
ヨム コウドクサンキュー

▽準決勝

光星学院	300	102	003	9
東海大甲府	000	011	001	3

(光)城間―田村

(甲)本多、木下、神原―石井

▽本塁打Ⅱ北條2、田村(光)▽二塁打Ⅱ天久(光)相原(甲)

第94回全国高校野球選手権大会第14日は22日、

兵庫県西宮市の甲子園球場で準決勝を行い、本県代表の光星学院が山梨代表の東海大甲府を9―3で破り、3季連続の決勝進出を決めた。春夏を通じ東北勢、県勢初の甲子園優勝にあと1勝と迫った。決勝の相手は大坂桐蔭で、今春のセンバツと同じ顔合わせ。春夏連続同一カードは史上初。光星学院は大会最終日の23日午前10時半から、深紅の大優勝旗をかけて決勝に

挑む。

光星学院は初回、3番田村の適時打で1点先制、さらに4番北條のバックスクリーンへの2点本塁打で一気に試合の流れを引き寄せた。四回には北條が2打席連続バックスクリーンへのソロ本塁打で4点目。六回にも敵失と犠飛で2点を加え、九回には田村の左翼席への3点本塁打で試合を決めた。先発城間は東海大甲府打線に9安打を浴びたが、我慢強く丁寧なコースを突き、3失点で完投した。